

渋谷区立鳩森小学校 学校経営方針

渋谷区立鳩森小学校
校長 鈴木 優子

すべては子供たちのよりよい成長のために

—柔軟な発想と対応力—

—全教職員の協働—

- 地域と共に歩む学校 —コミュニティ・スクールとして—
- 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善
- インクルーシブ教育の推進

I 教育目標

夢に向かって自ら未来を切り拓き、他者と協働して新たな価値を創造する「鳩森の子」を育むために次の目標を設定する。

感じ かかわり つくる

- | | |
|------|--|
| 感じ | 「自然や事象を豊かに感じる子」
「もっと知りたい やってみたいという思いをもち、自ら学ぶ子」 |
| かかわり | 「人とかかわり、学び合い、協働して問題を解決する子」
「自分を知り、集団の一員としての役割を考えられる子」 |
| つくる | 「思いや考えを構築し、豊かに表現する子」
「学んだことを生活に生かす子」 |

II 目指す学校像

1 子供が輝き、明日が待たれる学校

- ・自分を認めてくれる先生や友達がいる。
- ・安心して自分の力を発揮できる場がある。
- ・授業がよく分かり、できた喜び、向上していく喜びが自覚できる。
- ・一人一人が大切にされているという実感がある。

2 保護者・地域から信頼され、安心して子供を通わせることのできる学校

- ・きめ細やかな生活指導、児童の生命や健康を第一にした安全体制が目に見える形で表れている。
- ・児童のよさや可能性を伸ばし、確かな学力を身に付けてくれる。
- ・いつでも相談できる教職員がいる。
- ・透明感があり、学校の様子がよくわかる。

3 教職員が、やりがい・生きがいをもって力を発揮できる学校

- ・子供にかかわる思い、それぞれの職への思い、教職への夢を実現できる。
- ・日々の教育実践に自信と誇りがもて、意欲的に授業の構築、教育活動の準備ができる。
- ・組織の一員として、協働して教育活動をつくりあげる喜びがもてる。
- ・互いに切磋琢磨しながら、学び合い、高め合う。

Ⅲ 経営の基本方針

1 一人一人が大切にされる温かい学校

子供と子供、子供と教職員、子供と地域の方たちの心が通い合う温かい学校を築く。

- (1) 「すべては子供たちのよりよい成長のために」をモットーに職種を超えて教職員が一丸となって指導や職務に取り組む。担任・専科・養護教諭・主事等が情報を共有し、児童理解を深め、協働して指導体制をつくる。
- (2) 児童会活動や縦割り班活動、地域や幼稚園・保育園、中学校、子育て支援センター等との交流等、様々な人々とのふれあいを通して人間関係を深め、思いやりや優しさなど豊かな心を育む。
- (3) 保護者・関係機関との連携を一層深めるとともに、様々な人的配置を有効に活用し、特別支援教育の充実を図り、児童一人一人の状況に応じたきめ細やかな教育を推進する。(特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー・特別支援教室専門委員・巡回臨床心理士・学習指支援員・介助員の活用、通級指導や特別支援教室拠点校との連携)

2 児童にとって安全で、快適な環境の整った学校

「環境が人をつくる」の方針のもと、安全かつ豊かな情操を育む環境づくりを行う。

- (1) 施設・設備の点検、改修を確実にを行い、常に安全な環境を保つ。
- (2) 休み時間等、授業時間以外の時間も全教職員で子供たちの状況を見守る体制をつくる。
(死角をつくらない)
- (3) 避難訓練や防犯教室を確実に行うとともに、家庭・地域や関係諸機関との連携を図り、安全確保や安全指導の徹底を図る。
- (4) 生活指導、保健指導の一層の充実を図り、児童が自ら判断し行動できる能力を高めることで、怪我や事故のない安全な学校生活を送れるようにする。
- (5) 四季の変化や草花の美しさを感じられる校庭や学校園・学級園、窓辺を整備するとともに、安全で清潔な教室環境や感性を豊かにする掲示に配慮することで、豊かな情操を育む。
- (6) 言語環境を整え、相手を思いやり、時と場に応じた言葉遣いができる児童の育成を図る。
- (7) 自然や人との触れ合い、かかわり合いを大切にする。(新宿御苑での自然学習や活動、学年を超えた交流、地域との交流等)

3 児童一人一人の自己実現が図れる学校

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざし、各教科・領域、学校行事等すべての教育活動を充実させる。学校生活の様々な場面で、児童の能力や特性、思いが認められ、将来への夢を育む教育を推進する。

- (1) 個に応じた学びの手立ての充実、豊かなかかわりによる相互理解・高め合い、交流及び共同学習などによるインクルーシブ教育を推進し、児童の自己肯定感、学習意欲を高め、一人一人の能力を最大限に伸ばす。
- (2) 各教科等において主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善に取り組む。基礎的・基本的な知識・技能の習得を徹底するとともに、問題解決型の学習や学び合いを充実させ、思考力・判断力・表現力等の育成及び学習意欲の向上や学習習慣の確立を図る。
- (3) 「授業充実プラン」を作成し、それぞれの学年で習得すべき基礎的・基本的な学習内容の習得を確実にするとともに、学習したことを活用する活動を重視することにより、思考力・判断力・表現力などの能力を育成する。
- (4) 全教員が指導に当たる朝学習の時間「鳩森タイム」「学びの時間」の充実により、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- (5) タブレット端末、プロジェクタなどの ICT 機器を有効に活用した多様な学習により、個に応じた教育、協働的な学習を推進するとともに情報活用能力を育成する。また、個別学習用アプリケーション等を家庭学習でも活用し、知識・技能の習得および家庭との連携強化を図る。
- (6) 学校図書館専門員との連携を図り、読書教育を充実させ、本好きな児童を育てるとともに、読解力の基礎を養う。「しぶやおすすめの本50」を活用した取組、読み聞かせ、読書週間の設定、読書環境の整備・充実
- (7) 教育活動全体を通して道徳教育の充実を図るとともに、「要」としての「特別の教科 道徳」においては、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れる。発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」「議論する道徳」の授業を展開し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- (8) 「鳩森よい子のお約束」に基づく指導の徹底を図り、あいさつ、言葉遣い、早寝・早起き等の基本的な生活習慣を確立するとともに、生命を尊ぶ心、思いやりの心、規範意識を醸成する。
- (9) 地域の文化的な環境・人材を生かして自然や伝統文化に触れる体験的な活動の充実を図り、地域社会の一員として郷土「渋谷」を愛し誇りをもち、社会に貢献しようとする精神、自然を大切にし、敬う心を育てる。また、各教科等においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する。
- (10) これまでの積み上げを十分に生かすとともに、外国人指導助手を有効に活用し、外国語教育の充実を図る。併せて「はともりイングリッシュクラブ」、英語による昼の放送、掲示物の充実等、授業以外の活動を工夫し、コミュニケーション能力の素地・基礎を育成する。

4 教育公務員としての使命の自覚

最も優れた教育環境は、よい教師に恵まれることである。一人一人が教育公務員としての使命感と自覚をもち、組織的に教育目標の具現化に向けた教育活動の推進を図る。

- (1) 教育は意図的・計画的営みである。年間指導計画に基づき、週ごとの指導計画の立案・記録・評価を確実にいき、毎時間のめあて・学習活動を明確にし、工夫して授業を行う。
- (2) 初等教育における教育活動の根幹は学級経営にあることを常に踏まえる。児童の状況に応じてより確かな学級経営を行う。
- (3) 協力・協働体制を整え、創意工夫して教育方法の改善充実を図る。実践や授業と一体となった校内研究を重視し、組織的な取組の中で、教師一人一人の指導力の向上を図るとともに、様々な研究・研修の成果を日々の実践に生かしていくことで児童理解や指導力を高める。
- (4) 公務員として、常に都民や区民の期待や要望を自覚し、勤務・サービスに関しては、自ら、また互いに厳しく律する。信用失墜行為の防止、体罰等の禁止、コスト意識をもった仕事の遂行に努める。
- (5) 健全で常識ある社会人としての資質を身に付ける。
 - ・時と場に合わせた身なり、言動に気を配る。
 - ・常に常識ある社会人として行動し、人としてより豊かな生き方を心掛ける。
- (6) 教師の人権感覚を磨くとともに、道徳教育や人権教育等の充実により、豊かな人間性を育てる心の教育を推進する。

5 保護者・地域から信頼され、開かれた学校

コミュニティ・スクールとして学校運営協議会の機能を生かし、社会に開かれた教育課程の推進を図り、地域と共に歩む学校づくりを行う。

- (1) 情報の共有化を図る。(双方向の情報交換、連携協力、地域行事への積極的な参加)
- (2) 積極的に学校の教育活動について公開し、理解を得る。(授業・行事の公開、広報、学校便り・ホームページの活用)
- (3) 学校評価を基に家庭・地域と連携して教育課程の改善を図る。
- (4) 地域の保育園・幼稚園・中学校と連携を深める。(就学前オープンスクール、授業交流、意見交流の充実)
- (5) 保護者・外部人材の教育への参画と積極的な活用の推進を図る。

6 その他

「鳩森グリーンコミュニティ」を中心に、教職員も共に天然芝校庭の維持・有効活用に努める。